

他にもある、中野区の調査委託の問題点

4

予定されていた資料は全部納品されたのか？

契約上「地区計画決定に向けた関係機関及び関係者との協議、調整に必要な資料」の作成が予定されていたにもかかわらず、資料の存在を示す書類はなく、実際に成果品として資料が納品されたかどうかを示す書類もありません。

5

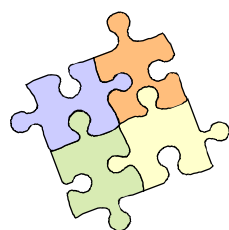
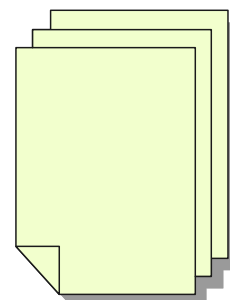
納品の際、中野区はきちんと検査したのか？

地方自治法では、契約に関わる検査の方法について、「検査は契約書、仕様書及び設計書その他関係書類に基づいて行わなければならない」と規定されています。

しかし、全体の半分が前年度報告書と酷似し、予定されていた資料の存在が確認されない成果品を合格させた中野区の検査は、適正に行われたといえるでしょうか。

★繰り返される調査委託でこれまでも問題が出ている

中野区は、警察大学校等跡地の開発について民間大手シンクタンクへの調査委託を繰り返していますが、2004年度の会計監査では、「契約方法が適正でなかった」「一括再委託の禁止について協議がされていなかった」「適正な検査が行われていなかった」との指摘を受けています。また、前年度の成果が十分確認されないまま同様の調査が発注されるなど、問題があります。



警大跡地に関わる委託調査に

最近4年間で5,000万円超

2003年度からの警大跡地の開発に関わる委託調査一覧

年度	調査名	契約業者名	契約金額	予定価格	落札率
2003	中野駅周辺まちづくり調査	新都市建設公社*	1,470万円	1,500万円	98%
2004	中野駅周辺まちづくり計画作成等支援	新都市建設公社*	1,189万円	1,200万円	99%
2005	中野駅周辺まちづくり計画推進	三菱総合研究所**	1,300万円	1,300万円	
2006	囲町地区まちづくり構想案作成委託	日本技術開発	475万円	493万円	96%
	地区計画推進委託	セントラルコンサルタント	651万円	700万円	93%

*日建設計に再委託、随意契約 **プロポーザル方式

中野区議会2006年度予算特別委員会提出資料等を参考に作成